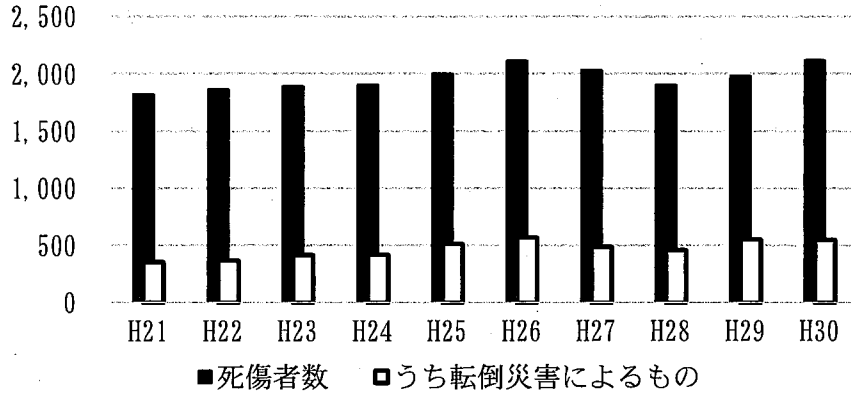


長野県における転倒災害の発生状況

休業4日以上死傷者数の推移

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
死傷者数	1,821	1,864	1,890	1,903	2,000	2,113	2,032	1,903	1,983	2,120
うち転倒災害によるもの	356	369	418	419	515	570	489	461	553	551
割合 (%)	19.5	19.8	22.1	22.0	25.8	27.0	24.1	24.2	27.9	26.0

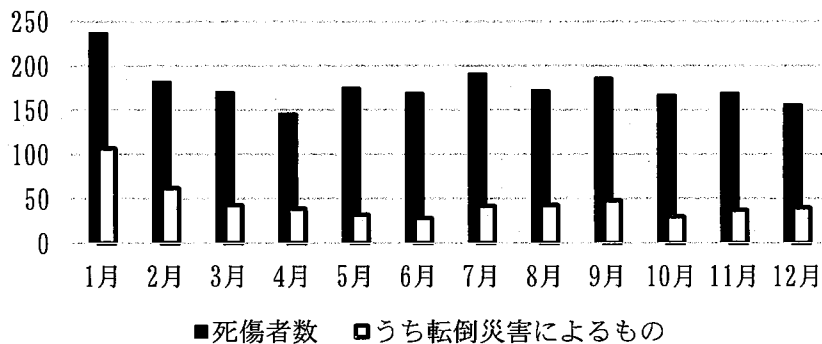
休業4日以上死傷者数の推移



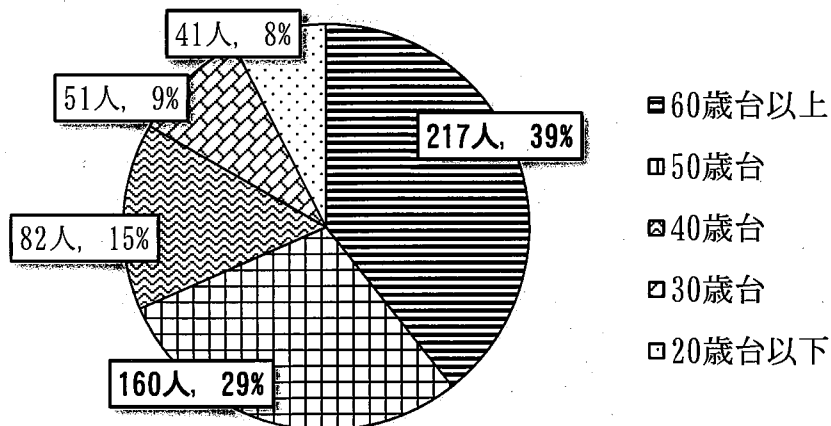
平成30年の月別労働災害発生状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
死傷者数	237	182	170	146	175	169	191	172	186	167	169	156
うち転倒災害によるもの	107	62	43	39	32	28	42	43	48	30	37	40
割合 (%)	45.1	34.1	25.3	26.7	18.3	16.6	22.0	25.0	25.8	18.0	21.9	25.6

平成30年の月別労働災害発生状況



平成30年の年齢別転倒災害発生状況



冬季における転倒災害の特徴

特徴 1

事故の4割が60歳以上

50歳以上だと全体の7割にもなります。高齢者の場合、骨折等により休業が長期化しやすい傾向にもあるため、年齢が高い方ほど徹底した対策が必要です。

特徴 2

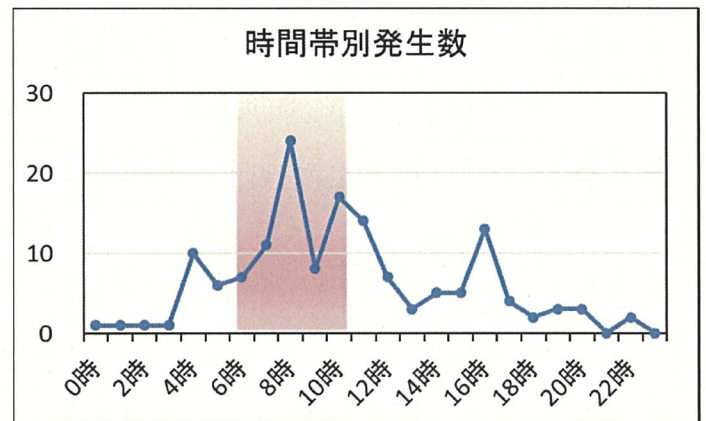
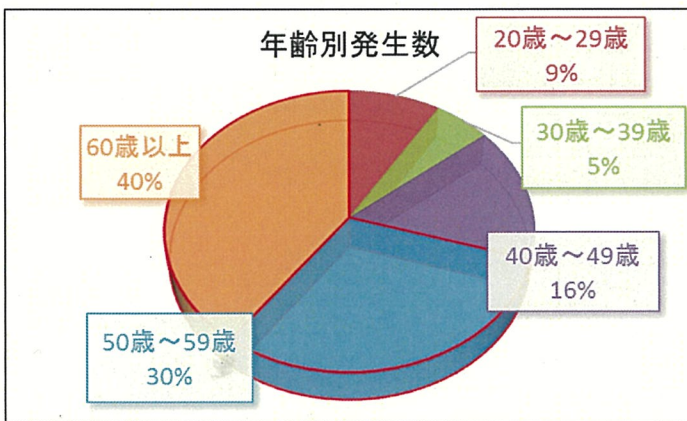
朝の通勤時間帯に特に多い

通勤時間帯は、積もった雪や凍結面が日光で少し溶けていることがあり、より滑りやすくなっています。また、日中の仕事をされている方の場合、体が完全に覚醒していない時間帯でもあるため、特に注意が必要です。

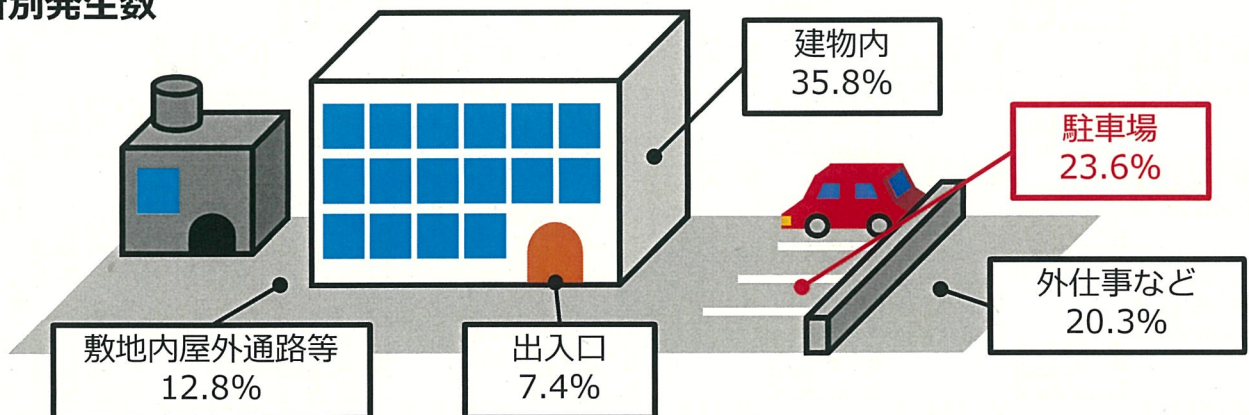
特徴 3

事故の8割が事業場の敷地内

路面凍結等に関する事故は、特に駐車場での割合が高くなっています。車から降りる際に足下の確認が疎かになる、照明がないため暗い等の特徴を踏まえた対策が必要です。



場所別発生数



※上記データは、平成31年1月及び2月の長野県内で発生した転倒災害の発生状況（速報値）からまとめたものです。